

[2018年4月12日]

## 名古屋伏見エリアに待望のハイグレードテナントオフィス (仮称)鹿島伏見ビル着工

鹿島(社長:押味至一)が開発する「(仮称)鹿島伏見ビル」が、本年3月1日に着工しました。この計画は、交通至便な名古屋ビジネスエリアの中心「伏見」のメインストリートである錦通に、1階が店舗、2～13階が事務所となる貸床面積約 3,200 坪のオフィスビルを、鹿島の企画と設計施工により建設するものです。



完成予想パース

基準階の事務所部分は、有効面積約 260 坪、天井高約 2,800mm、奥行約 15m の整形な無柱空間を実現し、ゆとりあるフレキシブルなレイアウトを可能にしました。また、最小賃貸床面積は約 35 坪とし、スタートアップ企業にも使いやすい設定にしています。

外装部には Low-E ペアガラス※を採用、ガラスカーテンウォールの遮熱性能を高めることで空調容量の削減を図ります。また、オフィス専有部の換気には全熱交換器を採用するとともに、CO2 濃度により換気量を制御する省エネ技術を取り入れるなど、環境に配慮した省エネルギー・高エネルギー効率のオフィスビル計画となっており、ユーザーに快適なワークプレイスを提供します。

※ 遮熱性のある特殊な金属膜をコーティングした複層ガラスで、冷暖房効率を高める効果がある

【計画概要】

事業主体: 鹿島建設株式会社 開発事業本部  
所在地: 愛知県名古屋市中区錦二丁目 1411 番 1 他  
主要用途: 事務所(2~13階)、店舗(1階)  
敷地面積: 1,828 m<sup>2</sup>  
延床面積: 16,891 m<sup>2</sup>  
階数: 地上 13階  
最高高さ: 59.87m  
構造: CFT造  
駐車台数: 158台  
設計施工: 鹿島建設株式会社 中部支店  
竣工: 2019年9月(予定)

【位置図】

